

情報学委員会
国際サイエンスデータ分科会
(第24期・第4回)

議事録

1. 日時 平成31年1月10日(木) 11:00-12:00
2. 会場 日本学術会議6階 6-C(1)会議室
3. 出席者(五十音順、敬称略): 相澤彰子、芦野俊宏、安達淳、植田憲一、小関敏彦、宮崎久美子、村山泰啓
4. 議題
 1. 2019年度の運営について
 2. 諸報告
5. 配布資料
 - 資料1-1 第2回(メール審議)議事要旨案
 - 資料1-2 第3回(メール審議)議事要旨案
 - 資料2 CODATA 2018 GENERAL ASSEMBLY MINUTES-v01(1)
 - 資料3 WDS 小委員会活動報告
 - 資料4 名簿: オープンサイエンスの深化と推進に関する検討委員会
 - 資料5 オープンサイエンスの深化と推進に関する検討委員会
 - 資料6 国立研究開発法人におけるデータポリシー策定のためのガイドラインについて(事務連絡)
 - 資料7 国立研究開発法人におけるデータポリシー策定のためのガイドライン
6. 議事
 1. 国際サイエンスデータ分科会第2回、第3回(いずれもメール審議)議事要旨案がそれぞれ承認された。
 2. 小関委員長より2019年度からは村山副委員長を新たに委員長としたい旨提案があり、了承された。村山副委員長からは役職変更後には井上幹事を新たに副委員長とすること、また小関委員長にはアドバイスを頂くため執行部のメール連絡等には入っていただくことについて提案があった。井上幹事は欠席のため、ご本人の最終承諾を得られれば決定する旨、了承された。またその場合は幹事が芦野幹事1名となるので、もう1名の幹事については新年度にあらためて議論することとなった。
 3. CODATA 総会(General Assembly)の模様について芦野幹事・CODATA 小委員会委員長より報告があった。植田委員より、IUPACでは情報系企業の予算支援などがあ

って運営されているが、そうした試みはないのか質問があった。芦野幹事より、これまで各国分担金のみで運営できてきておりそうした予算支援はなかったこと、現在分担金のある会員の資格に企業も加えるか検討課題になっていることなどが回答された。

4. **WDS** 小委員会および内閣府など関連の国内オープンサイエンス動向について、村山副委員長・**WDS** 小委員会委員長より報告があった。宮崎委員より、データリポジトリの信頼性認証について質問があり、村山副委員長より、データリポジトリすなわち「データ置き場」の長期保証や管理の信頼度を高めるための認証であること、個別の研究データセットそのものの信頼性は **FAIR** (Findable、Accessible、Interoperable、Reusable) 原則など別のやり方で担保し、両者を整合させながら推進する方向で国際的議論がすすんでいることが回答された。

以上。

以上